浜須賀地区　防災都市づくりニュース

VOL.2

平成23年9月18日［日］　浜須賀地区防災都市づくりワークショップ開催

第２回　浜須賀地区防災都市づくりワークショップを開催

第２回ワークショップでは、地域点検（まち歩き）を実施し、今から浜須賀地区でできる具体的な防災の取り組みについて考えました。

第１回ワークショップに続いて、第２回ワークショップでも、浜須賀中学校の生徒さんにご参加いただき、幅広い議論が行われました。

＜第2回WSの内容＞
日時：9月18日［日］ 9:30-12:30
場所：浜須賀会館
参加人数：31名
★体験プログラム
・まち歩き
★グループ討議
・まち歩きの感想
・まち歩きの結果を整理する
★発表

第２回　ワークショップの進め方

テーマ：地域点検を通して地域の防災上の課題や特徴を再確認する！

地域に長年住んでいる方でも、まち歩きをすることで、地域について新たな気づきを得ることができます。
また、地域の状況について、住民間で共通の認識を持つことができます。
第２回ワークショップでは、第１回ワークショップで話し合ったまち歩きの視点を中心に、普段見慣れている地域でまち歩きを行い、地域の状況について再確認しました。

ステップ１　地域点検の視点を決める！！

◇第１回ワークショップまでに出た意見を参考にして地域点検の視点を決めました。

ステップ２　地域点検を実施！！

◇グループにわかれて地域点検を実施しました。
※大　人：単位自治会のエリアをまち歩き
１班：三が丘、オーベル茅ヶ崎ラチエン通り、松が丘ハイツ
２班：菱沼南部、菱沼海岸、菱沼海岸緑
３班：松浜、平和町
４班：浜須賀、翠松会、松涛会、浜須賀住宅

ステップ３　模造紙に地域点検の結果を整理！！

◇グループで見てきたことや気づいたことを地図や模造紙に整理
◇地域点検を通して気づいたことを踏まえて、地域の防災上の特徴や課題を整理

発表後のコメント

東京大学　加藤先生

●今日の印象としては、新しくて古い町、古くて新しい町というのが１つと、静かで生活しやすそうで大変いいまちだなと思いました。この新しくて古いという印象は何から来るのかというと、まちが変化しているということなんだと思うんですね。まちが変化する力を持っているまちというのは、この先色々なことができるのだろうなという意味で、大きな可能性を感じました。

●道が狭いというのは、マイナスはマイナスですが、道が狭くてくねくねしていると、他の車が入ってこないので、非常に歩きやすいんですね。一方でラチエン通りでは、非常に車が多くて集団では歩けない。必ずプラスの側面もあるので、プラスとマイナスのバランスを取りながら考えていくのが、このまちオリジナルの防災まちづくりの方向性ではないかと思いました。このまちの良いところ、悪いところを両方ながめながら色々な工夫をする余地があるのではないかなと思いました。

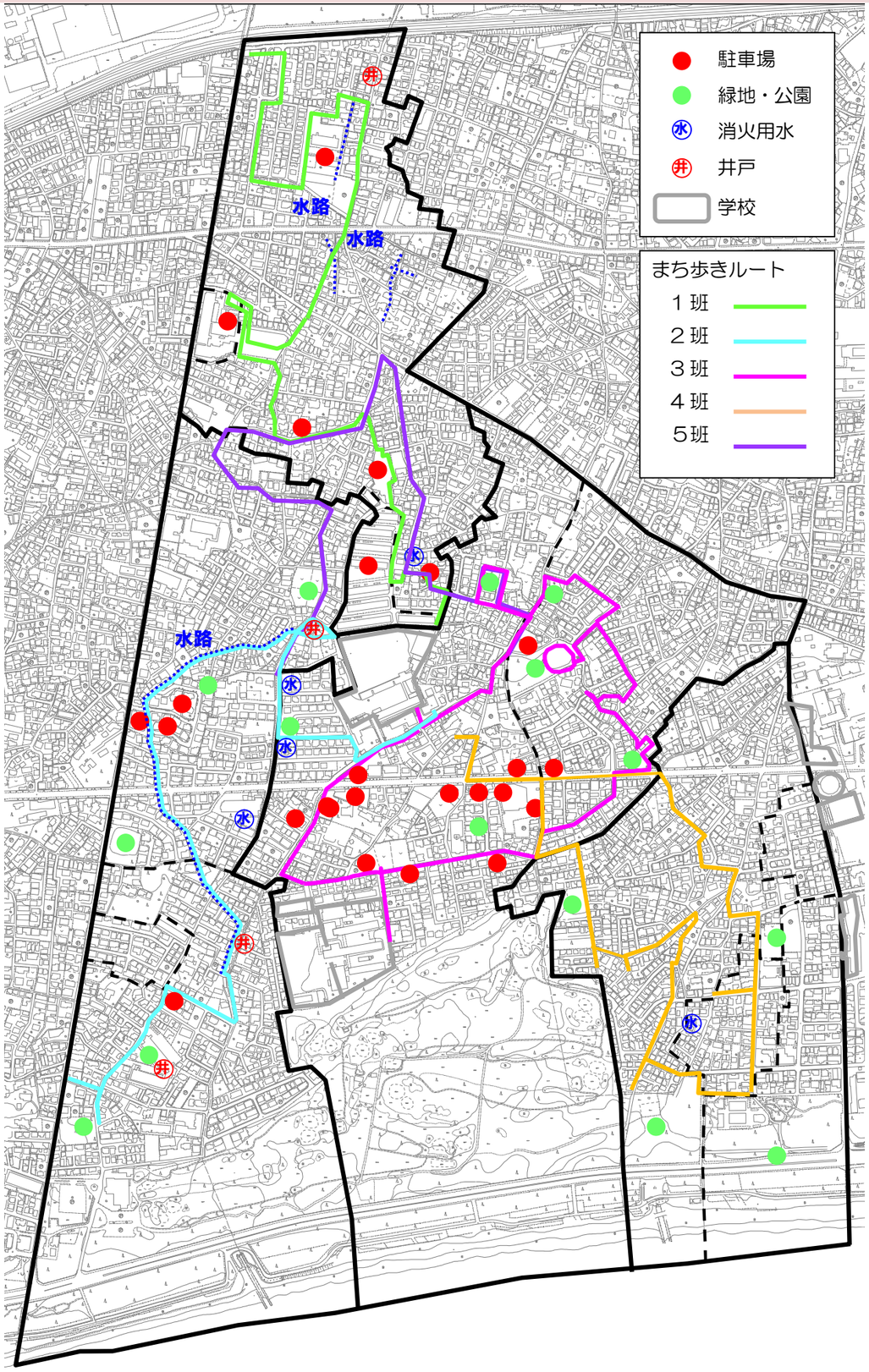
発　行：茅ヶ崎市　都市部　都市政策課　　発行日：平成２３年１０月
ＴＥＬ　0467－82－1111（内線：2504）　ＦＡＸ　0467－57－8377

まち歩きの結果

道路空間も活用できる？

水路を避難ルートとして活用

中学生の視点でまちを再確認



一次避難所として

行き止まりの看板をチェック！

ブロック塀が倒れたら